

主な医薬品とその作用

問6 1

次のかぜ薬の配合成分に用いられている塩化リゾチームに関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 蛋白質分解酵素であり、体内で産生される炎症物質（起炎性ポリペプチド）を分解する作用がある。
- 2 咳を抑える作用がある。
- 3 鶏卵アレルギーがある人は使用を避ける必要がある。
- 4 大量に摂取すると偽アルドステロン症を生じる。

問6 2

次のかぜ薬に配合される成分と、その代表的な副作用の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- 1 リン酸コデイン ————— 薬物依存
- 2 マレイン酸クロルフェニラミン ————— 便秘
- 3 ベラドンナ総アルカロイド ————— メトヘモグロビン血症
- 4 イブプロフェン ————— 動悸

問6 3

解熱鎮痛薬には、プロスタグランジンの産生を抑える作用を有する成分が配合されているものがある。次のプロスタグランジンが関与して引き起こされる痛みの組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- 1 関節痛・生理痛・腹痛(痙攣性内臓痛)
- 2 神経痛・生理痛・腹痛(痙攣性内臓痛)
- 3 神経痛・関節痛・腹痛(痙攣性内臓痛)
- 4 神経痛・関節痛・生理痛

問64

次の記述は、ある解熱鎮痛成分の説明である。該当するものはどれか。

主として中枢性の作用によって解熱・鎮痛をもたらすと考えられており、抗炎症作用は期待できない。その分、他の解熱鎮痛成分のような胃腸障害は比較的少ないとされ、空腹時に服用できる製品もある。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 アセトアミノフェン | 2 イブプロフェン |
| 3 エテンザミド | 4 フマル酸クレマスチン |

問65

次のアスピリンに関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a アスピリンアルミニウムは、主にアスピリンによる肝機能障害の軽減を目的にしたものである。
- b 一般用医薬品では、小児（15歳未満）に対しては、いかなる場合にも使用しないこととなっている。
- c サザピリンとともにピリン系解熱鎮痛成分と呼ばれ、薬疹等のアレルギー^{しん}症状を起こしたことがある人では使用を控える必要がある。

- | | a | b | c |
|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 |
| 4 | 正 | 誤 | 誤 |

問66

次のカフェインに関する記述について、()の中に入れるべき正しい字句はどれか。

カフェインは医薬品、医薬部外品、食品などに含まれており、それらが眠気防止薬と同時に摂取されるとカフェインが過量となり、中枢神経系や循環器系等への作用が強く現れるおそれがある。

眠気防止薬として用いる場合、カフェインとして1回摂取量は200mg、1日摂取量は()が上限とされている。

- 1 300mg 2 500mg 3 1000mg 4 2000mg

問67

次の催眠鎮静薬の配合成分に用いられているブロムワレリル尿素に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 抗ヒスタミン成分であり、脳下部での睡眠・覚醒^{せい}に関する部位の神経細胞への刺激の発生を抑制することで眠気を促す。
- b 胎児障害の可能性があるので、妊婦又は妊娠していると思われる女性は使用を避けることが望ましい。
- c 反復して摂取すると依存を生じるおそれがある。
- d ハーブのセントジョーンズワートを含む食品を併せて摂取すると、効果や副作用が増強されることがある。

- | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 正 | 正 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |
| 4 | 正 | 正 | 正 | 誤 |

問68

次の記述について、()の中に入れるべき正しい字句はどれか。

乗物酔い防止薬に配合される成分には、抗めまい成分、抗ヒスタミン成分、抗コリン成分などがあるが、()は、乗物酔い防止に古くから用いられる抗コリン成分で、中枢に作用して自律神経系の混乱を軽減させるとともに、末梢では消化管の緊張を低下させる作用がある。

また、消化管からよく吸収され、他の抗コリン成分と比べて脳内に移行しやすいとされるが、肝臓で速やかに代謝されてしまうため、抗ヒスタミン成分と比べて作用の持続時間は短い。

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 塩酸メクリジン | 2 塩酸ジフェニドール |
| 3 酸化チタン | 4 臭化水素酸スコポラミン |

問69

小児の疳^{かん}を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤(小児鎮静薬)には、鎮静作用のほか、血液の循環を促す作用があるとされる生薬成分が中心に配合されている。次の小児鎮静薬に配合されている代表的な生薬成分として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a ダイオウ
- b ゴオウ
- c レイヨウカク
- d センブリ

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

問70

次の1～4で示される医薬品成分のうち、気道粘膜からの粘液分泌を促進する作用を示し、痰^{たん}の切れをよくするものはどれか。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 リン酸コデイン | 2 塩酸メチルエフェドリン |
| 3 塩酸ブロムヘキシン | 4 トラネキサム酸 |

問71

次の鎮咳去痰薬に配合される生薬成分に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a キョウニン^{がい たん}は、バラ科のアンズの種子を用いた生薬で、体内で分解されて生じた代謝物の一部が延髄^{ずい}の呼吸中枢^{がいそう}、咳嗽中枢を鎮静させる作用を示すとされる。
- b シャゼンソウは、オオバコ科のオオバコの花期の全草を用いた生薬で、去痰^{たん}作用を期待して用いられる。
- c ナンテンジツは、バラ科のヤマザクラ又はその同属植物の樹皮を用いた生薬で、去痰^{たん}作用を期待して用いられる。
- d ゴミシ^{たん}は、去痰作用を期待して用いられるが、糖尿病の検査値に影響を生じることがある。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問72

次の口腔咽喉薬^{くういんこう}・含嗽薬^{そう}に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 一般用医薬品の口腔咽喉薬^{くういんこう}や含嗽薬^{そう}には、咽頭部の炎症^{いん}を和らげる成分、殺菌消毒成分等を組み合わせて配合されている。
- b 噴射式の液剤では、息を吸いながら噴射すると気管支や肺に入ってしまうおそれがあるため、軽く息を吐いたり、声を出しながら噴射することが望ましい。
- c 含嗽薬^{そう}は、用時水で希釈又は溶解して使用するものが多いが、調製した濃度が濃すぎても薄すぎても効果が十分得られない。
- d 口腔咽喉薬^{くういんこう}・含嗽薬^{そう}は、口腔内や咽頭^{くう いん}における局所的な作用を目的とする医薬品であるが、成分の一部が口腔や咽頭の粘膜から吸収されて循環血流中に入りやすく、全身的な影響を生じることがあるため、配合成分によっては注意を要する場合がある。

- | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 正 | 正 |
| 2 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |
| 3 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 4 | 正 | 誤 | 誤 | 誤 |

問73

次の胃の薬に配合される成分のうち、中和反応によって胃酸の働きを弱めるものはどれか。

- 1 乾燥水酸化アルミニウムゲル
- 2 オウバク
- 3 ジアスターゼ
- 4 アズレンスルホン酸ナトリウム（水溶性アズレン）

問74

次の腸の薬に配合される成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a ビフィズス菌、アシドフィルス菌、ラクトミン、乳酸菌、酪酸菌等の生菌成分は、腸内細菌のバランスを整えることを目的として用いられる。
- b 次硝酸ビスマス等の収斂成分^{れん}を主体とする止瀉薬^{しゃ}については、細菌性の下痢や食中毒の時に使用して腸の運動を鎮めると、かえって状態を悪化させるおそれがある。
- c 塩酸ロペラミドが配合された止瀉薬^{しゃ}は、食べ過ぎ・飲み過ぎによる下痢、寝冷えによる下痢の症状に用いられることを目的としており、食あたりや水あたりによる下痢については適用対象でない。
- d クレオソートは、通常の腸管内に生息する腸内細菌に対しても抗菌作用を示すが、ブドウ球菌や大腸菌などに対する抗菌作用の方が優位であることと、下痢状態では腸内細菌のバランスが乱れている場合が多いため、結果的に腸内細菌のバランスを正常に近づけることにつながると考えられている。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	誤
2	誤	誤	正	正
3	誤	正	正	誤
4	正	正	正	正

問75

次の漢方処方製剤のうち、胃の不調を改善する目的で用いられるものはどれか。

- 1 ごしゃじんきがん 牛車腎気丸 2 かつこんとう 葛根湯 3 しょうさいことう 小柴胡湯 4 あんちゅうさん 安中散

問76

次の浣腸薬（注入剤）の用法に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 薬液の放出部を肛門に差し込み、薬液だまりの部分を絞って、薬液を押し込むように注入する。
- 2 注入するときはゆっくりと押し込み、注入が終わったら放出部をゆっくりと抜き取る。また、注入する薬液は人肌程度に温めておくと、不快感を生じることが少ない。
- 3 効果を十分得るためには、薬液を注入した後、直ちに排便を試みることが望ましい。
- 4 半量等を使用する用法がある場合、残量を再利用すると感染のおそれがあるので使用後は廃棄する。

問77

10歳の男の子が保健所の虫卵検査で回虫の感染が確認され、駆虫の方法について相談を受け、次の医薬品を服用しようとしている。このときの登録販売者の対応に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。なお、この男の子の家族構成は、父（38歳）・母（38歳）・祖父（65歳）である。

1包中 サントニン100mg

用法・用量 1回15歳以上1包、11～14歳2／3包、8～10歳1／2包、空腹時、あるいは夕食をなるべく軽くし、就寝前と翌朝の2回服用

- a 駆虫効果を高めるため、この医薬品の服用に加え、マクリを主成分とする駆虫薬の併用を勧めた。
- b 衣食を共にする家族全員に感染の可能性があり、一緒に駆虫した方がよいと助言した。
- c 駆除した虫体や腸管内に残留する駆虫成分の排出を促すため瀉下薬としてヒマシ油しゃの併用を勧めた。
- d 駆虫薬は、腸管内に生息する虫体にのみ作用するので、腸管内にあった虫卵が成虫となった頃に、あらためて使用しないと完全に駆除できない場合があるとの助言をした。

1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

問78

次の強心薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 強心薬については一般に、5～6日間使用して症状の改善がみられない場合には、1日用量を直ちに2倍にする。
- b 一部の強心薬には、小児五疳薬^{かん}や胃腸薬、滋養強壯保健薬等の効能・効果を併せ持つものがある。
- c 強心薬の代表的な配合成分であるジャコウは、シカ科のジャコウジカ又はその近縁動物の雄のジャコウ腺分泌物^{せん}を乾燥したもので、強心作用のほか、呼吸中枢を刺激して呼吸機能を高めたり、意識をはっきりさせる等の作用があるとされる。
- d 強心薬の代表的な配合成分であるセンソは、ウシ科のウシの胆嚢^{のう}中に生じた結石を用いた生薬で、強心作用のほか、末梢血管の拡張による血圧降下、興奮を静める等の作用があるとされる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	正	誤

問79

次のコレステロールに関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a コレステロールは細胞の構成成分で、胆汁酸や副腎皮質ホルモン等の生理活性物質の産生に重要な物質でもある等、生体に不可欠な物質である。
- b コレステロールの産生及び代謝は主として肝臓で行われる。
- c コレステロールは水に溶けやすい物質である。
- d コレステロールは食事から摂取された蛋白質^{たん}から主に産生される。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問80

次の貧血用薬（鉄製剤）の相互作用に関する記述について、（ ）の中に入れるべき正しい字句はどれか。なお、2箇所の（ ）内はどちらも同じ字句が入る。

貧血用薬（鉄製剤）服用の前後30分に（ ）を含む飲食物（緑茶、紅茶、コーヒー、ワイン、柿等）を摂取すると、（ ）と反応して鉄の吸収が悪くなることがあるので、服用前後はそれらの摂取を控えることとされている。

- 1 フマル酸 2 タンニン酸 3 オレイン酸 4 マレイン酸

問81

次の痔^じの薬に配合される成分の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- 1 局所麻酔成分 _____ アラントイン
2 鎮痒^{よう}成分 _____ 塩酸ジフェンヒドラミン
3 ステロイド性抗炎症成分 _____ 塩酸リドカイン
4 組織修復成分 _____ 酢酸ヒドロコルチゾン

問82

次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 婦人用薬は、血の道症、更年期障害、月経異常及びそれらに随伴する冷え性、月経痛、こしけ（おりもの）、血色不良等に用いられる。
b エチニルエストラジオール、エストラジオールを含有する一般用医薬品である婦人用薬は、内服薬のみが認められている。
c 女性の月経は、子宮の内壁を覆っている膜が剥^はがれ落ち、血液と共に排出される生理現象である。

- | | a | b | c |
|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 |
| 3 | 正 | 正 | 誤 |
| 4 | 誤 | 誤 | 正 |

問83

次のアレルギーに関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 皮膚感染症（たむし、疥癬等）により、湿疹やかぶれ等に似た症状が現れることがあるが、その場合、アレルギー用薬によって一時的に痒み等の緩和を図ることを優先し、皮膚感染症そのものの対処は、その後に行うことが適当とされている。
- 2 アレルギー症状を軽減するには、日常生活におけるアレルゲンの除去・回避といった対応は不要とされている。
- 3 皮膚症状が治まると喘息が現れるというように、種々のアレルギー症状が連鎖的に現れることがある。このような場合、一般用医薬品によって一時的な対処を図るよりも、医療機関で総合的な診療を受けた方がよい。
- 4 一般用医薬品には、アトピー性皮膚炎等による慢性湿疹、痒み等の症状に用いることを目的とするものもある。

問84

次の表はある鼻炎用内服薬に含まれている成分の一覧である。

1日量中の成分	
塩酸プソイドエフェドリン	180mg
マレイン酸クロルフェニラミン	12mg
サイシンエキス	30mg
カンゾウ末	300mg
シンイエキス	21mg
ショウキョウ末	100mg
無水カフェイン	75mg

この鼻炎用内服薬に含まれる成分とその配合目的について、正しいものの組み合わせはどれか。

成分	配合目的
a 塩酸プソイドエフェドリン	鼻粘膜の血管収縮作用
b マレイン酸クロルフェニラミン	モノアミン酸化酵素阻害作用
c サイシンエキス	抗ヒスタミン作用
d シンイエキス	鎮静、鎮痛、抗炎症作用

- 1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問85

次の鼻炎用点鼻薬に配合される成分とその作用について、正しいものの組み合わせはどれか。

成分	作用
a 塩酸フェニレフリン	アドレナリン作動作用
b クロモグリク酸ナトリウム	抗アレルギー作用
c 塩化セチルピリジニウム	局所麻酔作用
d グリチルリチン酸二カリウム	殺菌消毒作用

- 1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問86

次の眼科用薬等に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a コンタクトレンズ装着液には、医薬部外品として認められたものがある。
- b 洗眼薬は、主に目の洗浄に用いられ、眼病予防に用いられるものはない。
- c 点眼薬は外用薬である。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	誤	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	誤

問87

次の点眼薬に配合される成分に関する記述について、()の中に入れるべき正しい字句はどれか。

自律神経系の伝達物質であるアセチルコリンは、水晶体の周りを囲んでいる毛様体に作用して、目の調節機能に関与している。目を酷使すると、アセチルコリンを分解する酵素（コリンエステラーゼ）の働きが活発になり、目の調節機能が低下し、目の疲れやかすみといった症状を生じる。

()は、コリンエステラーゼの働きを抑える作用を示し、毛様体におけるアセチルコリンの働きを助けることで、目の調節機能を改善する効果を目的として用いられる。

- 1 塩酸ナファゾリン
- 2 メチル硫酸ネオスチグミン
- 3 スルファメトキサゾール
- 4 タウリン

問 8 8

次の外皮用薬に配合される成分に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 オキシドール（過酸化水素水）の殺菌作用は、持続性があり、組織への浸透性も高い。
- 2 マーキュロクロムは、無機亜鉛の一種である。
- 3 塩酸クロルヘキシジンは、ヨウ素による酸化作用により殺菌消毒作用を示す。
- 4 ポビドンヨードは、まれにショック（アナフィラキシー）やアナフィラキシー様症状のような全身性の重篤な副作用を生じることがある。

問 8 9

次の外皮用薬に配合される成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a インドメタシンは、吸収された成分の一部が循環血液中に入る可能性があり、妊婦又は妊娠していると思われる女性では、使用を避けることが望ましい。
- b ケトプロフェンの副作用として、まれに重篤な光線過敏症が現れることがある。
- c サリチル酸メチルは、皮膚から吸収された後、サリチル酸に分解されて、主として局所刺激により患部の血行を促し、また、末梢の知覚神経に軽い麻痺^ひを起こすことにより、鎮痛作用をもたらすと考えられている。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

問90

次の毛髪用薬に配合される生薬成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a カシウは、ヒノキ科のタイワンヒノキ、ヒバ等から得られた精油成分で、抗菌、血行促進、抗炎症などの作用を期待して用いられる。
- b チクセツニンジン^{チクセツニンジン}は、ウコギ科トチバニンジン^{トチバニンジン}の根を用いた生薬で、血行促進、抗炎症などの作用を期待して用いられる。
- c ヒノキチオールは、タデ科ツルドクダミ^{ツルドクダミ}の塊根を用いた生薬で、頭皮における脂質代謝を高めて、余分な皮脂を取り除く作用を期待して用いられる。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	誤

問91

次の歯槽膿漏^{歯槽膿漏}等に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 歯槽膿漏^{歯槽膿漏}薬は、歯肉炎、歯槽膿漏^{歯槽膿漏}の諸症状（歯肉からの出血^{出血}や膿^膿、歯肉の腫れ^{腫れ}、むずがゆさ、口臭、口腔内の粘り^{粘り}等）の完全な治療を目的とする医薬品である。
- 2 歯槽膿漏^{歯槽膿漏}薬には、患部局所に適用する外用薬のほか、内服で用いるものもある。
- 3 歯と歯肉の境目にある溝（歯肉溝）では細菌が繁殖しやすく、歯肉に炎症を起こすことがある。
- 4 歯肉炎が重症化して、炎症が歯周組織全体に広がると歯周炎（歯槽膿漏^{歯槽膿漏}）となる。

問9 2

次の口内炎に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 口内炎は、通常であれば1～2週間で自然寛解するが、一度に複数箇所が発生して食事に著しい支障を来すほどの状態であれば、医療機関を受診することが望ましい。
- b 口内炎の症状が長引いている場合には、口腔粘膜に生じた腫瘍である可能性もある。
- c 口内炎が再発を繰り返す場合には、ベーチェット病などの可能性も考えられるので、医療機関を受診することが望ましい。
- d 副作用として口内炎が現れる一般用医薬品はない。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	誤	正
4	正	誤	誤	誤

問9 3

次の咀嚼して用いる禁煙補助剤に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 口腔内が酸性になると、ニコチンの吸収が低下するため、コーヒーや炭酸飲料を摂取した後は、しばらく使用を避けることとされている。
- b 使用期間は、6ヶ月を目途とし、1年を超える使用は避けることとされている。
- c 妊娠している女性は、禁煙したほうがよいので、積極的に使用することが望ましい。
- d ゆっくりと断続的に嚙むこととされている。

- 1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問9 4

次のビタミン主薬製剤に配合される成分に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a ビタミンB₁は、蛋白質の代謝に^{たん}関与し、皮膚や粘膜の健康維持、神経機能の維持に重要な栄養素である。
- b ビタミンB₂は、脂質の代謝に関与し、皮膚や粘膜の機能を正常に保つために重要な栄養素である。
- c ビタミンB₆は、炭水化物からのエネルギー産生に不可欠な栄養素で、神経の正常な働きを維持する作用がある。
- d ビタミンB₁₂は、赤血球の形成を助け、また、神経機能を正常に保つために重要な栄養素である。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問9 5

次の滋養強壮保健薬に配合される成分に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 アスパラギン酸ナトリウムは、骨格筋の疲労の原因となる乳酸の分解を促す等の働きを期待して用いられる。
- 2 ガンマーオリザノールは、軟骨組織の主成分で、軟骨成分を形成及び修復する働きがあるとされる。
- 3 ヘスペリジンは、米油及び米胚芽油から見出された抗酸化作用を示す成分である。
- 4 コンドロイチン硫酸は、ビタミン様物質のひとつで、ビタミンCの吸収を助ける作用があるとされる。

問9 6

次の生薬成分に関する記述について、()の中に入れるべき正しい字句はどれか。

()は、イネ科のハトムギの種皮を除いた種子を用いた生薬で、肌荒れやいぼに用いられる。

- 1 ヨクイニン 2 ジオウ 3 センキュウ 4 ニンジン

問97

次の漢方の基本的な考え方に関する記述について、()の中に入れるべき正しい字句はどれか。

漢方の考え方として重要なものは、患者の証（体質及び症状）及び陰陽五行説である。陰陽五行説は、人体の臓器を（ ）に分け、それぞれの臓器が相互に作用し合って生体のバランスを取っている、という考え方に基づいて処方を選択する考え方である。

- 1 陰陽 2 五行 3 虚症・実症 4 五臓六腑

問98

医薬品である殺虫剤は、疾病を媒介したり、物を汚染するなどして、保健衛生上の害を及ぼす衛生害虫を死滅させることを目的としたものであり、専ら不快害虫等を殺す目的で用いられるものは医薬品には該当しない。

次の記述と衛生害虫の正しい組み合わせはどれか。

- a 赤痢菌、チフス菌、コレラ菌、O-157大腸菌等の病原菌、赤痢アメーバ、寄生虫卵、ポリオウイルスなどの病原体を媒介する。また、人の体内や皮膚などに幼虫（ウジ）が潜り込み、組織や体液や消化器官内の消化物を食べて直接的な健康被害を与えることもある。
- b 吸血によって皮膚に発疹や痒みを引き起こすほか、日本脳炎、マラリア、黄熱、デング熱等の重篤な病気を媒介する。
- c ネズミを宿主として移動し生息場所を広げていく。吸血による刺咬のため激しい痒みを生じる。また、発疹熱などの病原細菌であるリケッチア、ペストなどを媒介する。

	a	b	c
1	ツツガムシ	ゴキブリ	イエダニ
2	ハエ	蚊	イエダニ
3	ハエ	ゴキブリ	シラミ
4	ツツガムシ	蚊	シラミ

問99

次の殺菌消毒薬の誤用、事故等による中毒への応急処置に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 誤って飲み込んだ場合は、通常多量の牛乳などを飲ませるが、手元になければ水を飲ませる。
- b 誤って目に入った場合は、洗浄を行なう前に酸又はアルカリにより中和するとよい。
- c 誤って皮膚に付着した場合は、石鹼^{けん}を用いて流水で15分間以上水洗する。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

問100

次の尿糖、尿蛋白^{たん}検査等に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 泌尿器系機能及び血糖値が正常であれば、尿糖値は160～180mg/dL程度、尿蛋白^{たん}値は15mg/dL以下である。
- b 尿蛋白^{たん}値に異常を生じる要因は、腎機能障害によるものとして腎炎やネフローゼ、尿路に異常が生じたものとして尿路感染症、尿路結石、膀胱炎^{ぼうこう}などがある。
- c 採尿のタイミングは、原則として尿糖の場合は起床直後、尿蛋白^{たん}の場合は食後1～2時間とされている。
- d 正確な検査結果を得るためには、採尿直後の尿を用い、できるだけ長い時間検査薬を検体に浸した後、判定することが望ましい。

- 1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

医薬品の適正使用と安全対策

問101

一般用医薬品の添付文書の構成は、大きく12に分けられる。()の中に入れるべき字句の組み合わせとして適当なものはどれか。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ①改訂年月 | ⑦ (b) |
| ②添付文書の必読及び保管に関する事項 | ⑧成分及び分量 |
| ③販売名及び薬効名 | ⑨病気の予防・症状の改善につながる事項 |
| ④製品の特徴 | ⑩保管及び取扱い上の注意 |
| ⑤使用上の注意 | ⑪消費者相談窓口 |
| ⑥ (a) | ⑫製造販売業者の氏名又は名称及び住所 |

	a	b
1	重篤な副作用	小児に対する効能又は効果
2	販売業者の名称	リスク区分
3	妊婦への影響	製造番号又は製造記号
4	効能又は効果	用法及び用量

問102

次の一般用医薬品の添付文書の使用上の注意に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 「相談すること」の欄には、その医薬品を使用する前に、その適否について専門家に相談した上で適切な判断がなされることが望ましい事例の内容等が記載されている。
- 「相談すること」の欄には、その医薬品を使用したあとに、副作用と考えられる症状等を生じた場合や症状の改善が見られない場合に関する事例の内容等が記載されている。
- 「相談すること」の欄には、医療用医薬品を服用している人が一般用医薬品を使用するときは、薬剤師のみに相談すればよいと記載されている。
- 「してはいけないこと」の欄には、守らないと症状が悪化する事項、副作用または事故が起こりやすくなる事項について記載されている。

問103

次の医薬品の表示に関する記述について、()の中に入れるべき正しい字句はどれか。

使用期限の表示については、適切な保存条件の下で製造後()を超えて性状及び品質が安定であることが確認されている医薬品において法的な表示義務はないが、流通管理等の便宜上、外箱等に記載されるのが通常となっている(配置販売される医薬品では、「配置期限」として記載)。

- 1 一年 2 三年 3 五年 4 七年

問104

次の医薬品の購入者等に対する情報提供の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 一般の生活者が接する医薬品の有効性や安全性等に関する情報は、断片的かつ必ずしも正確でない情報として伝わっている場合も多く、購入者等に対して科学的な根拠に基づいた正確なアドバイスを与え、セルフメディケーションを適切に支援することが、医薬品の販売に従事する専門家において期待されている。
- b 独立行政法人医薬品医療機器総合機構が運営するホームページ「医薬品医療機器情報提供ホームページ」は、パスワードが必要で医療関係者のみがアクセスできるようになっており、一般の生活者は閲覧できない。
- c 購入者等に対する情報提供の実効性を高める観点から、購入後その医薬品を使い終わるまで、添付文書等は必要なときに取り出して読むことができるよう大切に保管しておくことを説明する必要がある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	誤	誤	正

問105

次の医薬品等の安全対策に係る情報提供に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 緊急安全性情報は、医薬品又は医療機器について重要かつ緊急な情報伝達が必要な場合に、厚生労働省が医薬関係者に4週間以内に直接配布し情報伝達するものである。
- 2 厚生労働省では、医薬品、医療機器等による重要な副作用、不具合等に関する情報を原則、毎月取りまとめ、医薬品・医療機器等安全性情報として広く医薬関係者向けに情報提供を行っている。
- 3 医薬品・医療機器等安全性情報は、A4サイズの黄色地の印刷物で、ドクターレターとも呼ばれる。
- 4 緊急安全性情報は、医療用医薬品についての情報伝達であり、一般用医薬品には関係しない。

問106

次の医薬品の購入者等に対する情報提供の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 添付文書の使用上の注意により、その医薬品を実際に使用する人における副作用の回避、早期発見につながる事項等の情報を提供することができる。
- b 医薬品について購入者等が抱く疑問に対する答えは、添付文書に記載されていることも多く、購入者等への相談対応においても、添付文書情報は有用である。
- c 情報通信技術の発展・普及によって、一般の生活者が医薬品の有効性、安全性等について、正確な情報を得ることができるので、医薬品の販売に際して購入者にアドバイスする必要はない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	正	正

問107

次の医薬品の副作用情報等の収集に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度は、医薬品の使用、販売等に携わり、副作用等が疑われる事例に直接に接する医薬関係者からの情報を広く収集することによって、医薬品等の安全対策のより着実な実施を図ることを目的としている。
- b 製薬企業が行う医薬品の副作用等に関する情報収集には薬剤師が対応するので、登録販売者は情報収集には協力する必要はない。
- c スイッチOTCについては、承認条件として承認後の一定期間（概ね3年）、安全性に関する使用成績の調査及び調査結果を製薬企業から国へ報告することが求められている。
- d 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度において、医師や薬剤師等の医薬関係者による副作用等の報告が義務化されているが、登録販売者には副作用等の報告制度がなく報告する義務もない。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問108

次の医薬品の副作用情報等の報告制度に関する記述について、()の中に入れるべき正しい字句はどれか。

医薬品の製造販売業者には、薬事法第77条の4の2第1項の規定に基づき、その製造販売をし、又は承認を受けた医薬品について、その副作用等によるものと疑われる健康被害の発生、その使用によるものと疑われる感染症の発生等を知ったときは、その旨を定められた期限までに()に報告することが義務づけられている。

- 1 市町村長 2 保健所長 3 都道府県知事 4 厚生労働大臣

問109

次の医薬品の副作用等に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品による副作用は、添付文書の「使用上の注意」に記載されている事項だけであり、購入者には添付文書の記載内容のみ説明すればよい。
- b 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度において、安全対策上必要があると認めるときは、医薬品の過量使用や誤用等によるものと思われる健康被害についても報告がなされる必要がある。
- c 購入者等からの副作用などに係る訴えには、素直に耳を傾け、真摯な対応を取ることが重要である。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	誤	正	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

問110

1997年に厚生省(当時)が行った健康危機管理体制の整備に関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

1997年に厚生省(当時)は、(a)による(b)被害を深く反省し、国民の信頼を回復するためには、健康危機管理体制を抜本的に見直すことが必要であるとの認識に立ち、健康危機管理、すなわち、医薬品、食中毒、感染症、飲料水等に起因する国民の生命、健康の安全を脅かす事態に対して、健康被害の発生予防、拡大防止等の対策を迅速に講じていくための体制を整備した。

	a	b
1	ヒト乾燥硬膜	クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)
2	インフルエンザウイルス	ウイルス性疾患
3	肝炎ウイルス	肝炎
4	血液製剤	ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染

問 1 1 1

次の製薬企業による医薬品等の副作用等の報告に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 副作用の報告は、緊急性があるため、疑われる事項を知った日から必ず15日以内に報告しなければならない。
- b 医薬品と因果関係がはっきりしない副作用症例に関しては、混乱を招く可能性があるので、報告しないことが望ましい。
- c 医薬部外品は医薬品と同様に健康被害について自発的な情報協力が要請されているが、化粧品に関しては要請されていない。

	a	b	c
1	誤	誤	誤
2	誤	誤	正
3	正	正	誤
4	正	誤	正

問 1 1 2

次の医薬品副作用被害救済制度に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 無承認無許可医薬品（いわゆる健康食品として販売されたもののほか、個人輸入により入手された医薬品を含む）の使用による健康被害については、救済給付の対象にはならない。
- 2 一般用医薬品のうち殺虫剤や殺鼠^そ剤については、医薬品副作用被害救済制度の対象とはならない。
- 3 医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による健康被害の救済を図るための公的制度である。
- 4 医薬品副作用被害救済制度の救済給付の対象となる健康被害として、1日以上入院が必要条件となる。

問 1 1 3

次の医薬品副作用被害救済制度に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

なお、2箇所(c)内はどちらも同じ字句が入る。

医薬品副作用被害救済制度の救済給付業務に必要な費用のうち、給付費については、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法第 19 条の規定に基づいて、(a)から年度ごとに納付される拠出金が充てられるほか、事務費については、その2分の1相当額は(b)により賄われている。

この医薬品副作用被害救済制度に加え、2002 年に公布された改正薬事法により、(c)を適正に使用したにもかかわらず、それを介して生じた健康被害の救済を目的とした「(c) 感染等被害救済制度」が創設された。

	a	b	c
1	都道府県	国庫補助	漢方処方製剤
2	都道府県	寄附金	生物由来製品
3	製薬企業	寄附金	漢方処方製剤
4	製薬企業	国庫補助	生物由来製品

問 1 1 4

次の医薬品の副作用等による健康被害救済に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品副作用被害救済制度では、診察した医師が医薬品医療機器総合機構あて給付申請を行うことになっている。
- b 医薬品副作用被害救済制度の対象にならないような製品の不良により生じた健康被害は、医薬品PLセンターに相談することが推奨されている。
- c 登録販売者は、健康被害を受けた購入者等に対して救済制度があることや、救済事業を運営する総合機構の相談窓口等を紹介し、相談を促すなどの対応が期待される。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	誤	正	正
3	正	正	誤
4	正	誤	正

問115

次の医薬品副作用被害救済制度に基づく給付の種類に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

なお、2箇所の(b)内はどちらも同じ字句が入る。

給付の種類	
(a)	医薬品の副作用による疾病の治療に伴う(b)以外の費用の負担に着目して給付されるもの(定額)
(b)	医薬品の副作用による疾病の治療に要した費用を実費補償するもの(ただし、健康保険等による給付の額を差し引いた自己負担分。)

- | | a | b |
|---|------|------|
| 1 | 医療費 | 医療手当 |
| 2 | 医療手当 | 障害年金 |
| 3 | 障害年金 | 医療手当 |
| 4 | 医療手当 | 医療費 |

問116

次の塩酸フェニルプロパノールアミン(PPA)含有医薬品に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a PPAは、殺菌消毒を目的として、外皮消毒薬に配合されていた。
- b 米国では、肺炎の発生リスクとの関連性が高いと報告され、米国食品医薬品庁より、自主的な販売中止が要請された。
- c 日本では、脳出血の副作用報告から、厚生労働省から代替成分として塩酸プソイドエフェドリン等への速やかな切替えについての指示がなされた。

- | | a | b | c |
|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 |
| 4 | 誤 | 誤 | 正 |

問 1 1 7

第 1 欄の医薬品購入者からの相談について、第 2 欄の登録販売者の望ましい対応の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

第 1 欄

かかりつけの医療機関から医療用医薬品の処方を受けている人が、旅行中にかぜ気味であったことから、店舗販売業の店舗を訪れ、かぜ薬の購入について登録販売者に相談した。

第 2 欄

- a 現在の症状を尋ねるとともに、医薬品による副作用や食品によるアレルギーの既往歴を尋ねた。
- b 医療機関で処方されている医薬品の有無を確認せず、希望する第二類医薬品あるいは第三類医薬品を販売した。
- c 服用している医療用医薬品と販売しようとする医薬品との相互作用などの情報を確認し、副作用の危険性などを十分に説明した。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	誤	誤	正

問 1 1 8

次の医薬品に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 第一類医薬品に区分されるスイッチ O T C の販売にあたっては、安全を図るために副作用などの情報を薬剤師又は登録販売者が提供する義務がある。
- 2 殺菌消毒薬（液体絆創膏）を、ただれや化膿で湿潤した患部に用いると、分泌液が貯留して症状を悪化させることがあるので、購入者に対して注意を行った。
- 3 センナを主成分とする医薬品を購入した授乳中の人に、乳児に下痢を起こすおそれがあるため、服用する場合は授乳を避けるよう注意を行った。
- 4 来訪者が服用した医薬品による健康被害を訴えたので、医療機関の受診を勧めた。

問119

次の一般用かぜ薬による間質性肺炎に関する安全対策の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

2003年5月までに、一般用かぜ薬の使用によると疑われる間質性肺炎の発生事例が、計26例報告された。(a)では、

- ・一般用かぜ薬は、一般の生活者が (b) により購入して使用するものであること
- ・間質性肺炎は重篤な副作用であり、その (c) は一般用かぜ薬の効能であるかぜの諸症状と区別が難しく、症状が悪化した場合には注意が必要なことを踏まえ、同年6月、一般用かぜ薬全般につき使用上の注意の改訂を指示することとした。

	a	b	c
1	厚生労働省	自らの選択	初期症状
2	日本薬剤師会	自らの選択	末期症状
3	厚生労働省	医師の処方せん	末期症状
4	日本薬剤師会	医師の処方せん	初期症状

問120

次の医薬品の適正使用のための啓発活動に関する記述について、()の中に入れるべき正しい字句はどれか。

医薬品の持つ特質及びその使用・取扱い等について正しい知識を広く生活者に浸透させることにより、保健衛生の維持向上に貢献することを目的とし、毎年10月17日～23日の1週間を「()の週間」として、国、自治体、関係団体等による広報活動やイベント等が実施されている。

- 1 薬と健康
- 2 国際麻薬乱用撲滅
- 3 ダメ。ゼットイ。
- 4 セルフメディケーション